

公表：令和 5年 5月

事業所名 きつずサポートなにわ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○			・時間帯によっては、利用人数が多くスペースが限られていることもあるため、引き続き活動プログラムを踏まえながら、スペースの調整を行っていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・利用者1人に対して、スタッフ1人の体制を取っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・消毒や清掃等こまめに行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・今のところ実施する予定はない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・外部コンサルタントによるコンサルテーションを月3回実施している。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・フォーマル(発達検査、知検査、心理検査、学習支援に関する検査など)、インフォーマル(行動観察、聞き取りなど)なアセスメントを通して、計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・1対1の個別活動を中心としているが、集団活動を行う際は、必ずチームでプログラムの立案を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか			○	・1対1の個別活動を中心としているため、集団活動の時間はほとんどない。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・1対1の個別活動を中心としているが、集団活動を行う際は、必ず役割分担などの確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・1対1の個別活動を中心としているが、集団活動を行う際は、必ず行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎回療育計画を立てて、記録を残している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・自立支援協議会などで連携を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	—	・医療的ケアを必要とする利用者がいない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	—		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・連携は行っているが、研修を受ける機会は少ない。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・柏原市自立支援協議会子ども部会のメンバーの一員として出席している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・年に1回、ペアレントトレーニングの研修を実施している。  ・療育時に、保護者とやり取りする中で、子どもとの関わりについて適宜助言を行っている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・毎回の療育時や電話、メール、LINEなどで相談に応じている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・年に1回、保護者交流会を実施している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年に4回、法人全体の広報誌を発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域住民に向けたセミナーや研修を実施している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○		・適宜作成し、周知を行う。  ・スタッフ向けに避難訓練を実施する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				・スタッフ間で、連絡網を用いて伝達訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—	・食事提供の機会がない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	・事故防止のために、スタッフ間での情報共有や環境整備は適宜行っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束等の適正化のための指針を作成し、それに則った対応を行っている。</li> <li>・今のところ身体拘束する利用者はいない。</li> </ul>	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った評価です。